

22年市優秀スポーツ賞決まる

全国大会で好成績の25人

平成22年「舞鶴市優秀スポーツ賞」の受賞者が決定。同賞は市内在住、在勤、在学か舞鶴市出身で、昨年の全国大会で優秀な成績を取った人を表彰するものです。今回は、優秀賞に25人を選びました。受賞者は次のとおり(順不同。敬称略。学年は22年度)。

《優秀賞》

- ☆ウエイトリフティング…竹下菜緒(北國銀行=城北中出身)、小林克己(法政大2年=青葉中出身)、西尾里菜子(加悦谷高2年=青葉中出身)、有本稚菜(青葉中3年)、瀬野郁希、山崎美悠(以上白糸中3年)
- ☆空手…内田慎一郎(境谷)
- ☆水泳…亀井美尚(上福井)、越後智行(城南中1年)
- ☆スノーボード…今井心求(白糸中1年)
- ☆ソフトボール…松本愛香(若浦中2年)
- ☆卓球…植山実穂(愛知工業大4年=日星高出身)、上田仁(青森大1年=新舞鶴小出身)、倉啓太(中筋小6年)、千坂達也(余内小6年)、内藤雅明、西村空我(以上新舞鶴小6年)、千坂雄也(余内小4年)
- ☆フライングディスク…塩根誠(舞鶴養護学校3年)
- ☆ボート競技…青松載剛(東舞鶴高3年)
- ☆陸上競技…瀬野弘昭(高野由里)、地久里正三(倉谷)、福島航(京都産業大2年=白糸中出身)、苅田萌(京都共栄学園高3年=青葉中出身)、齊藤貴佳(舞鶴養護学校3年)

市ホームページをリニューアル

役立つ情報を積極的に発信



《4つの入り口》利用目的にあわせ「暮らしの情報」、「観光案内」、「事業者の方へ」、「市政情報」の4つに分類。その中の暮らしの情報と市政情報についてはアイコン表示で視覚的にも分かりやすく表示。

《施設案内》市内にある公共施設や観光施設、災害避難場所などを地図上に表示。

《市長の部屋をリニューアル》市長が出席した行事などのあいさつや活動の様子などを随時掲載。

《イベントカレンダー》行事や催しなどをカレンダー形式でお知らせ。

◇災害やクマの出没などの緊急情報や重要なお知らせについてはトップ画面上段でお知らせします(通常は非表示)。

◇携帯版ホームページ(<http://www.city.maizuru.kyoto.jp/>)でも休日・夜間の診療病院や災害時の避難場所などのほか、催しや生活に関する情報を掲載(バーコードリーダーの機能がある携帯電話は右のQRコードからどうぞ)。



▲QRコード

暮らしに見やすく便利になりました

3月22日、市ホームページ(<http://www.city.maizuru.kyoto.jp/>)をリニューアルしました。高齢者や視覚障害者にも配慮した見やすさ、使いやす

4月1日、子育てを応援する情報を集約したインターネットサイト「舞鶴市地域子育て応援情報サイト『そよかせネットまいたん』」を開設しました。

地域子育て応援情報サイトを開設 そよかせネットまいたん

これまで子育て支援拠点施設や各支援団体が独自に案内していたイベントや相談などの情報を一か所に集約し、内容別、目的別に閲覧することができるようになりました。親子で遊びに行ける場所やイベントなどのお出かけ情報、子どもに関する相談・支援策など、さまざまな情報をまとめて見ることができ、いつでも、どこでも見ることができ、「そよかせネットまいたん」にぜひ遊びに来てくださ

市ホームページに関するお問い合わせは、秘書課広報広聴係(☎66・1041)へ。

いホームページとなるようデザインを一新するとともに、行事や催しの案内をお知らせする「イベントカレンダー」や市内の公共施設などの場所を地図上に表示する「施設案内」など、利用者にとって便利な機能を新たに追加しました。今後も掲載情報の整理・拡充を図り、積極的な情報発信に努めていきます。主な特徴は上図のとおりです。

新たな舞鶴市総合計画・環境基本計画 素案を見直し

現在、市において今後、市が目指すべき方向やまちづくりを進めていく上での指針となる「新たな舞鶴市総合計画」と、良好な環境の保全と創造に向け「第二期舞鶴市環境基本計画(地域温暖化対策実行計画一区域施策編「含む」)の策定を進めています。いずれも昨年12月に計画の素案がまとまりましたが、このたびの多々見市長の就任に伴い、改めて計画期間

新たな総合計画に関するお問い合わせは、企画政策課(☎66・1042)へ。環境基本計画に関するお問い合わせは、生活環境課(☎66・1005)へ。

ホームページ アドレス

パソコン(<http://maizuru.jp/>)

携帯電話(<http://ikuj365.net/gnkm06/>)

バーコードリーダーの機能がある携帯電話は上のQRコードからどうぞ。

詳しくは、子ども支援課(☎66・1094)へ。

不正行為の再発防止へ 取り組みを徹底

平成21年11月に市職員が収賄容疑で逮捕されたことを受け、市では、公算パソコンを出先機関に増設を設け、当時の制度の検証や見直しなどを実施しました。また、22年4月には「コンプライアンス・業務執行会議」と、その下部組織として各部署の次・課長級職員で構成する「業務執行部会」を設置し、不正行為の再発防止を図るため、具体的な対応策に取り組みとともに、業務の改善や法令などの周知を徹底し、各課で実行すべき取り組みを実施してきました。これまでの主な取り組み状況について次のとおりお知らせします。

◆**チエック体制の強化** セキュリティ機能を有する積算パソコンを出先機関に増設。随意契約ガイドラインを改訂し、運用を周知徹底。

◆**業務の運用方法の改善** 特定の業者と随意契約をする工事について、他の業者の参加意思を公募により確認する制度を導入。

◆**職員の意識向上** 職員を対象とした倫理や契約などの実務研修を実施。不正行為の監視を目的とした「内部通報制度」の創設。

◆**人事制度の運用** 適材適所の人員配置。今後とも、これらの取り組みを継続するとともに、不正行為の再発防止の徹底を図っていきます。

詳しくは、指導検査課(☎66・1076)へ。